

# みずのわ

学校だより  
第7号  
令和元年9月27日(金)  
石巻市立石巻小学校

## 修学旅行において『野口英世』に学ぶ

校長／亀井 清浩

9月5日(木)と6日(金)の2日間、6年生の修学旅行で会津若松方面に行きました。平成29年度の【みずのわ第7号】では、会津藩校『日新館』について書きましたので、今回は、『野口英世』について紹介します。家族や地域の皆様も修学旅行や観光で「野口英世記念館」を訪れたことがあるかもしれませんが、野口英世の生涯や業績を振り返ることで、英世の人間としての考え方や生き方、先生や友人などの優しさを改めて知ることができます。



「志を得ざれば  
再び 此地を踏まず」  
※英世が上京するとき、  
柱に刻んだ決意文

### 【野口英世について】

1876年(明治9年)、農家の長男として生まれたが、1歳半のとき、左手に大火傷を負う。恩師や友人の支援により、左手の手術ができ、医学の素晴らしさに感動し、自ら医学の道を歩み始める。

努力に努力を重ねて、医学を勉強し、1900年(明治33年)にはアメリカに渡り、ロックフェラー医学研究所などで数々の研究成果をあげ、細菌学者として、ノーベル賞の候補者になるほど世界に名前を知られる人となる。

しかし、1928(昭和3)年、アフリカで黄熱病の研究中に感染し、51歳でこの世を去る。

□英世は小柄ながら、とてもパワフルな研究をしました。

□好きな言葉／目的・正直・忍耐

※英世の自筆を刻んだ碑には、次のように書いてありました。

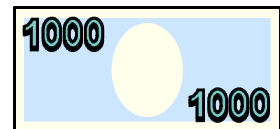
〔正直〕正直は最良の方法である。

〔忍耐〕忍耐は苦い、しかしその実は甘い。

□友人には・発明王／トーマス・エジソン

・飛行家／チャールズ・リンドバーグ

・細菌学者／志賀 潔



### 【英世の運命を決めた囲炉裏】



### 【野口英世の名言】

- 人生で変えることができるのは、自分と未来だけである。
- 努力だ、勉強だ、それが天才だ。誰よりも、3倍、4倍、5倍勉強する者、それが天才だ。
- 家が貧しくても、体が不自由でも、決して失望してはいけない。人の一生の幸も災いも、自分からつくるもの。
- モノマネから出発して、独創にまで伸びていくのが、我々日本人のすぐれた性質であり、たくましい能力でもある。

野口英世は、幼少期には貧困、障害、いじめで人を恨んだり、学生時代には先生や友人からの募金で人に助けられたりする経験をしました。世の中は、努力を続けている人、優しい人や志をもっている人には、誰かが温かい手を差し伸べてくれるものです。そして、野口英世の名言には、力強さや自信を感じるとともに、逆境を乗り越えるヒント、人の考え方や生き方に影響を与える力があります。

保護者や地域の皆様は、心に残る名言や心の支えになる言葉はありますか。ところで、ミニ情報ですが、野口英世が新紙幣の千円札の肖像画になったのは、2004年(平成16年)です。肖像画に選ばれる条件は、①世界に誇れる功績、②知名度、③特徴的な顔立ちだと言われています。